



第141号

発行

社会福祉法人 恵風会

〒930-2102 富山市山田宿坊1-8

TEL (076)457-2301 / FAX (076)457-2303

http://www.knei.jp/~azamien/ E-mail azamien@knei.jp



令和6年 新年のあいさつ

園長 館谷明彦

新年あけましておめでとございます。

一月一日元旦午後四時過ぎ、石川県能登半島を震源とするマグネチュード7.6の地震が発生し、震度7の激しい揺れにより石川県珠洲市、輪島市で建物の倒壊や大規模な火災が起り、多数の死傷者、避難者が出るなど甚大な被害を受けました。

被災された方々への精神的、物質的な支援を、長期的に行われる対応が望まれるところです。

さて、今日の地域社会では貧困・格差・失業など経済的課題とともに、ひきこもり、孤独、虐待などのさまざまな生活問題を抱える方々への総合的な福祉支援活動が重要な課題となっています。

障がいのある人たちが、その状態に関わらず、地域の中で安心して暮らし、それぞれの意思に基づいて自分らしい生活を実現できることが求められており、真に支援を必要としている人々の安心・安全を支えることができていくのか、今一度顧みることも必要です。

また、地域共生社会の実現に向けた取り組みが進められ、福祉のまちづくりをさらに発展させるために、社会福祉協議会、社会福祉法人、福祉施設等がこれまで培ってきた福祉の基盤となる力を一層発揮し、地域の中心的な役割を果たしていくことが期待されています。

私たちも安定から更なる生きる喜びへと繋げていくための支援を、どのように進めていくか試行錯誤しながら、利用者の皆さんに、より質の高いサービスを提供するためにも、一歩一歩前進していかなければならないと思います。

保護者の方々や、利用者の皆さん、職員の皆さんと共に、「生きる喜び」を感じる新しいあざみ園を築いてまいりたいと考えております。

今後とも一層のご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

夏祭り



暑さも厳しい盛夏の8月8日に、夏まつりが行われました。

利用者の皆さんは新型コロナウイルスにより、行動の制限を余儀なくされましたが、この日ばかりは思いっきり羽根をのぼして楽しんでいただきました。風船を使ったバレーボールやお宝さがしなど、あざみ園内をくまなく巡って体を動かすレクリエーションに、利用者さんの楽しげな笑い声が聞こえてきました。おやつは宝箱に入ったおやつの詰め合わせ。みなさんぺろりとすぐに食べていました。新型コロナウイルスが5類に移行した後も感染対策は続き、従来のような活動を再開するまでにはなっていませんが、こういった季節ごとの行事を大切に、利用者さんが少しでも楽しく過ごしてもらえるようにしていきたいと思っております。



敬老会

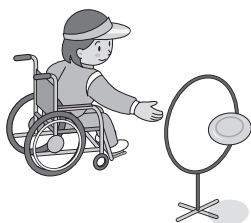
9月14日、まだ夏の暑さが消えない中、令和5年度に満60歳以上になられた13名の利用者の皆さんを、あざみ園

全利用者でお祝いしました！コロナ禍も少しずつ終息に向かっており、久しぶりに全利用者がそろってお祝いすることができ、嬉しく思います。敬老者の皆さんは、1人ずつ園長からプレゼントを手渡ししてもらい、お昼には「番やのすし」のお寿司を楽しみました！飲み込む力が弱い方には、ちらしずしとして提供しています。美味しいごはんを食べて、これからの人生も元気に楽しみましょう！



レクリエーション会

ふれあい育成スポーツ大会が未開催となり、9月28日、体育館にてレクリエーション会（ミニ運動会）を開催しました。フライングディスクを投げたり指定された色のボールを集めたりフラフープに入ってリレーをしたりと少し変わった種目を目一杯楽しみました。自然と応援の声にも力が入り白熱した時間となりました。



日帰り旅行



やまぶき寮

8月3日（木）にやまぶき寮で庄川水記念公園に出かけました。天気も良く、庄川ウッドプラザのデッキにて名物のゆずソフトを食べてきました。心もお腹も満たされた楽しい一日でした。



かたくり寮

7月27日、かたくり寮12名・みずほ寮3名で日帰り旅行に行ってきました！天気も良く、きとときと市場や新湊大橋を背景に記念撮影を行い、帰園後にジュースを楽しみました！



みずほ寮

11月21日、かたくり寮3名・みずほ寮18名でお菓子処 御菓蔵に工場見学に行ってきました！皆さん、おかきが作られる工程に興味津々の様子。その後、清水の展望台にておかきとジュースを楽しみました。



あざみ園祭

10月15日にあざみ園祭を行いました。

久しぶりのあざみ園祭は午前中のみで開催でしたが、3年分の勤続永年表彰も行い、利用者さんと家族みんなで音楽を楽しむひとときを過ごしました。

富山ユーフォニアム・チューバアンサンブルさんの演奏は迫力がありながらもきれいな音色で、その場にいた全員がうっとりとした表情をしていました。

次回の開催が楽しみだという声も聞かれており、大成功だったと思います。



クリスマス会

12月19日（火）あざみ園でみなさんが待ち望んでいたクリスマス会を行いました！

今回の昼食は具沢山のピザ、色鮮やかなサラダ、暖かいポトフでクリスマス気分を味わいました！午後からは音楽療法の講師によるクリスマス音楽会！クリスマスソングや楽器の音色が園内に鳴り響き、にぎやかで笑い声のあふれる楽しい時間を過ごしました！お待ちかねのクリスマスケーキを食べた後は、一番楽しみにしていたサンタさんとトナカイさんの登場です！サンタさんからプレゼントを手渡しでもらった時にあふれる笑顔！とても楽しいひと時となりました！



富山市生活介護事業所

あすなろ

第1 あすなろ

ごみゼロの日環境美化活動 R5.5.31

「富山市障害者福祉プラザ全体事業」で、環境美化活動に参加しました。あすなろ自治会役員の名で、富山市障害者福祉プラザ周辺のゴミ拾いを行いました。

**くつろぎの日** R5.10.26

リラクゼーション活動とバスハイクで1日ゆったりと過ごしました。リラクゼーションではアロマを焚いてリラックス動画を流しくつろぎました。バスハイクでは秋を感じられる場所に行き楽しみました。1日を通して、緩やかな時間をみんな満喫するのも良いものですね!!



第2 あすなろ

ミニ運動会

R5.6.15

プラザ多目的ホールにて運動会を行いました。おそろいのハチマキ、体操服に着替え、紅白に分かれて玉入れ、みんなで踊ろう、全員リレーと大白熱!!汗をかきながら一生懸命に身体を動かしました。特にリレーは一生懸命に走り、みんな総立ちで応援していました。

本番に向けて日頃から練習も行い、みんなで踊ろうでは練習の成果も十分見られ、最後のポーズもバッチリきまっていました!みんな真剣に競技に向き合う姿はとて素敵でした!



婦中生活介護事業所

つつじ

笑いヨガ



7月より生活を楽しむための活動として笑いヨガを始めました。

「笑いヨガ」とは、笑う動作をする健康体操で、笑うための筋肉を鍛えることで、身体と心を最適化し、身体的効果・心理的効果・生活改善効果・社会的効果などが得られるそうです。最初の

うちは利用者の皆さんに緊張する姿が見られましたが、回数を重ねるごとに、笑う声が大きくなってきました。最近では講師の方が来られる日が待ち遠しくて、職員に何度も確認される姿もみられています。元気いっぱいの講師の方の動きや音楽に合わせて、声を出したり、身体を使って笑ったりといろんな表現を楽しんでいます。

さあ、皆さんもたくさん笑って、心も体も元気になりましょう!!



多機能型事業所

このみ

放課後等デイサービス



夏休みや冬休みなどの長期休暇時にはおやつ作りや図書館・博物館などの公共施設への外出を行っています。おやつ作りでは生クリームを泡立てたり、電子レンジを使ってみたりと食材が変化する過程を目のあたりにし、実験気分に取り組む子供たちの姿が印象的でした。夏には水遊び、冬には雪遊びなど季節感を感じられる遊びも存分に楽しめるよう環境作りを行っています。



アクティブデイ <就B・生活介護>

10月17日(火) 婦中体育館にてアクティブデイ(ミニ運動会)が開かれました。玉入れ・フライングディスク・障害物リレーなど沢山体を動かしました。障害物リレーでは以前このみで学んだごみの分別を取り入れ、白熱した展開で大盛り上がりでした。

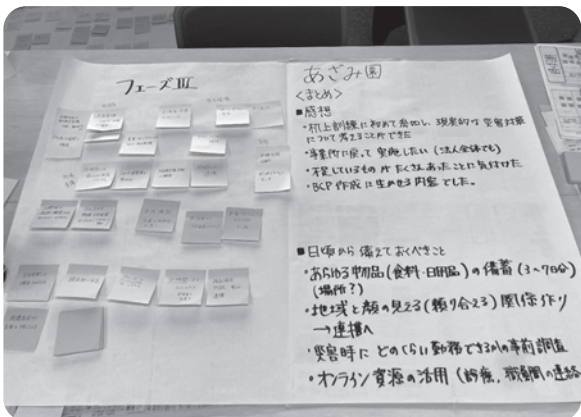


職員研修参加報告

とやまケアマネ羅針盤の会 災害対策机上訓練に参加して

あざみ園 支援課 平野 理絵

今回、とやまケアマネ羅針盤の会主催の災害対策机上訓練に障害者支援施設として初めて参加させていただきました。研修では、実際に震度6強の大規模地震が発生した場合を想定し、地震発生から経過時間毎にフェーズ（段階）を4つに分け、それぞれに考えられるあざみ園内での支援目標・阻害要因（できないこと）・促進要因（強み）を整理しました。



大規模地震が起きた際に、経過時間（フェーズ）ごとに起こりうるリスク等を考えると、より現実的な対策や必要な支援について考えることが出来ました。

普段から備えておかなければならないこととして ①物品の備蓄や、環境等の整備 ②地域と連携を取るための顔の見える関係づくり ③オンライン資源の活用があざみ園として必要であると考えます。

福祉施設でのサービス業務継続のために平時から準備・検討しておくべきことや、発生時の対応などをまとめたBCP（業務継続計画）の作成が、2024年4月ま

でに義務付けられており、あざみ園でも現在BCP作成に取り組んでいます。

1月1日に発生した能登半島地震では、あざみ園も強い揺れがあり、利用者の方の避難誘導・必要物品・連絡方法・地域との連携等、様々な面でより一層現実的な対策が必要と感じました。

BCP作成においては、災害が起きる前の段階、平常時にこそ準備を進めることが重要であると感じています。

今回研修で学んだことを生かし、能登半島地震での恐怖心を忘れず、安心・安全なあざみ園を守っていけるようBCP作成に取り組んでいきます。

意思決定支援研修

あざみ園 支援課 竹林 修

意思決定支援とは、本人が心からの希望に基づく意思決定を行うために提供される様々な支援のことです。「あなたを支援したい、助けてほしい」ではなく、「あなたをもっと知りたい」と思う気持ちからスタートします。

支援者は相手の意思を尊重することが重要で、本人の語りや物語に着目し、夢や希望を浮き彫りにしていきます。支援者は本人の語りも傾聴し夢や希望を語れるようにサポートし

ます。その際は、相手の発言に対して「そうですね」「すごいですね」とつい応えがちですが、その相槌は相手の話を肯定しているため良くないとのこと。あくまで中立的な立場に徹して会話をし、相手が発した単語を繰り返すことで相手が何を注目して欲しいのかを探っていきます。相手のストーリーに巻き込まれないように常に冷静に進める事が重要です。

つい自分の経験や社会の常識から導き出した最善策を押し付けがちになりますが、それは「良かれ」と思って支援」と呼称されており、本人の心からの希望と剥離されてしまいます。

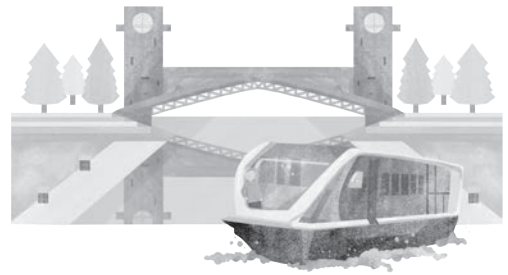
相手が出した答えが仮にリスクがあり本人に不利益があるとしても否定せず尊重し、そこから本人が納得できる解決策を探していきます。

人は誰しも自分の意思を持っていますが、特に高齢者、認知症の方、障害のある方の胸の内を理解することは容易ではありません。その意思を汲み取り夢や希望を理解できるかどうかは聞き手である支援者の力量に掛かっていることを忘れずに支援にあたりたいと思います。



羽根の家ニュース

日帰り旅行 11月7日に富山市にある久遠チョコレート富山を見学し、昼食後は環水公園に移動。富岩水上ラインに乗船し、ガイドさんの軽快な説明に耳を傾け、深まりゆく秋の環水公園を水辺より眺めました。中島閘門にて水のエレベーターを体験し富山湾をめざします。途中大型船舶を見て感動していた人も。皆さん久しぶりの日帰り旅行を満喫していました。



A Z A M I

善意の心

ありがとうございます
(令和5年5月〜令和5年12月) (敬称略)

あざみ園

- ・ 萬谷 雄三
- ・ 村瀬 秀子
- ・ 広田 留雄
- ・ 中川 美香子
- ・ 福村 順子
- ・ 小林 逸夫
- ・ 浅名 長在工門
- ・ 川口 一夫
- ・ 善意銀行
- ・ 竹腰 裕美子
- ・ 野上 貴美江
- ・ 濱崎 眞智子
- あすなる
- ・ 蛭川長寿会連合公会
- ・ 匿名
- このみ
- ・ 日産化学福祉基金 (ガス炊飯器)



新規採用職員



・ 長谷川ちえみ
(あざみ園管理課 事務員)

7月16日よりあざみ園管理課で勤務させて頂くことになりました長谷川と申します。福祉業界での勤務は初めてで、毎日新鮮な気持ちで過ごしております。利用者の皆さんが私の名前を覚えてくださったり、職員の方々に親切ご指導して頂いたり大変うれしく思うと同時に1日でも早く皆さんの頼りになる存在となれるよう努力して参ります。よろしくお願致します。

お悔み

加藤 昭さんが逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

編集後記



2024年、明けましておめでとうございます。コロナ禍が明け、少しずつ日常を取り戻していることに喜びを感じます。さて、去る2023年の出来事ながら、私が最も驚いたのが、藤井聡太さんのタイトル八冠制覇です。そうです、若干21歳にして将棋界の全てを制してしまいました。・私が21歳の時は大学3年生でした。深夜のコンビニバイトをしていました。最初は、強盗が来たらどうしよう?なんて考えていましたが、来る客は暇な大学生ばかりでした。平和でよかった。そんな私も患風会に入社して気づけば26歳。藤井八冠にも負けないうらい、障害福祉の仕事に勤しんでまいりますので、改めて、今年もよろしくお願致します!

退所者

- ・ 中川康史さん (6月22日 あざみ園入所)
- ・ 濱子 博之さん (8月1日 あざみ園入所)
- ・ 川野 直子さん (12月18日 あざみ園退所)